



10月給食だより



令和7年度 山田学校給食センター

秋を楽しむお月見の行事

ようやく暑さが和らぎ、秋の気配を感じるようになってきました。昔から、秋は1年のうちで最も月がきれいに見える季節とされ、昔の暦（旧暦）で秋の真ん中にあたる8月15日の十五夜の月を「中秋の名月」と呼んで、月を鑑賞するお月見の行事が行われてきました。ちょうどこの時期に里いもが収穫されることから、里いもをお供えしたり、「きぬかつぎ」などの里いも料理を食べたりする風習もあり、別名で「芋名月」ともいいます。また、十五夜からひと月ほど後の十三夜にもお月見をする風習があり、両方合わせてお月見をすると縁起が良いとされています。



2025年の十五夜は10月6日、十三夜は11月2日です。

十五夜の行事食

月見団子



米から作る団子。満月に見立てた丸い形のほか、里いもの形などもあり、地域によって違いがあります。

きぬかつぎ



里いもを皮付きでゆでたり蒸したりしたもの。平安時代の女性の服装にちなんで、こう呼ばれます。

給食センターでは、秋の味覚を取り入れた十五夜献立をお出します。おたのしみに！！

10月6日（月）の献立

きのこごはん 牛乳
さんまのかぼすレモン煮
さつまいものみそ汁
お月見大福



きのこレンジャー参上



きのこにはどんな種類があるか、調べてみましょう。

お知らせ

- 10月6日（月）・・・十五夜献立
- 10月8日（水）・・・ベジ活の日（小学校では130g、中学校では155gの野菜がとれます。）
- 10月9日（木）・・・夏尾中学校のリクエスト給食
- 10月16日（木）・・・ひむか地産地消の日 豚肉・ごぼう